

文化・芸術

「モンマルトル」

1930年代ごろ、油彩・カンバス
55・0センチ×76・0センチ



モーリス・ユトリロ

(1883～1955年)

大川美術館企画展「リニユーアル
記念展 エコール・ド・パリの画家
たちと松本竣介」から

《名画の扉》

パリ18区、モンマルトル。パリ市街を一望できる観光スポットとして有名ですが、19世紀後半から20世紀初頭にかけて、ピカソやモディリアニ、シャガールら、多くの芸術家たちが夢を追い求めて集った場所でもあります。

彼らとともに、のちにエコール・ド・パリの画家として人気を博したモーリス・ユトリロは、この地で生まれ育ち、その風景を生涯描き続けました。

この作品は、ユトリロが慣れ親しんだモンマルトルの丘の上から

街角にイーゼルを立て、自身の愛する風景を見渡すユトリロの晴れやかな気分が伝わってくるようです。

(佐藤)